

2024 ULTRA PROJECT

フクセイクラブ ～刷り師所蔵のエディションを調査せよ！～ | 鳥居本顕史

■プロジェクト内容（予定）

1960年代以降、アメリカの版画工房「タイラー・グラフィックス」のマスタープリンター、ケネス・タイラーをはじめ、さまざまな刷り師がアーティストとのコラボレーションを行ってきました。日本でも版画制作の波が訪れ、72年には今回の調査対象である谷中和生氏も「タニナカシルクエディション」を設立し、そこで横尾忠則のポスターなどを制作しました。ウルトラファクトリーには谷中氏が本学で教員をされていた時代に残された「刷り師所蔵のエディション」が保管されており、フクセイクラブでは、シルクスクリーン制作工房「京都孔版」と共に、当時の授業内容の再現なども試みつつ、技術的な視点から分析を試みます。

実施期間 2024年5月～10月末

活動場所 ウルトラファクトリー プリントラボ、京都孔版

活動日 活動は平日隔週1回程度（17時40分～20時）、
曜日はプロジェクトが始まってからすり合わせていきます。主に学内で活動しますが、たまに学外実習も予定しています。
夏季休暇期間に数回実施予定の実習プログラムは、
終日（10時～18時）で予定しています。

■スケジュール

4月16日（火） エントリー〆切（13時まで）

4月24日（水） 17:30～ 面接（申込者全員）対面

4月30日（火） 面接選考結果をメールにて連絡

5月8日（木） 17:40～ キックオフミーティング

@ウルトラファクトリー

※上記は現時点での予定です。変更の可能性もありますが、各自スケジュールは空けておいてください。

■単位認定

なし

■募集人数

6名程度

■応募方法

エントリーフォームより必要事項（志望動機/自己PR）を入力し、PJの活動内容のうち以下の4つを興味のある順番に選択（①資料の整理・アーカイブ化作業、②実習プログラムへの参加、③什器制作、④展覧会の運営）し、応募してください。ディレクターとの面接を経て、メンバーを決定します。

※エントリーフォームへは、特設サイトプロジェクト一覧の末尾にある【ウルトラプロジェクトのエントリーはこちら】から

■面接について

面接詳細はエントリー〆切後に、メールにて連絡します。

面接日時までにこれまでやってきたことがわかるポートフォリオを準備して、当日持参してください。

■お問い合わせ

不明な点や質問は、ウルトラファクトリー オフィス（徳山・浦田）まで。

TEL 075-791-8482 Email ultrafactory@office.kyoto-art.ac.jp

フクセイクラブ_活動内容

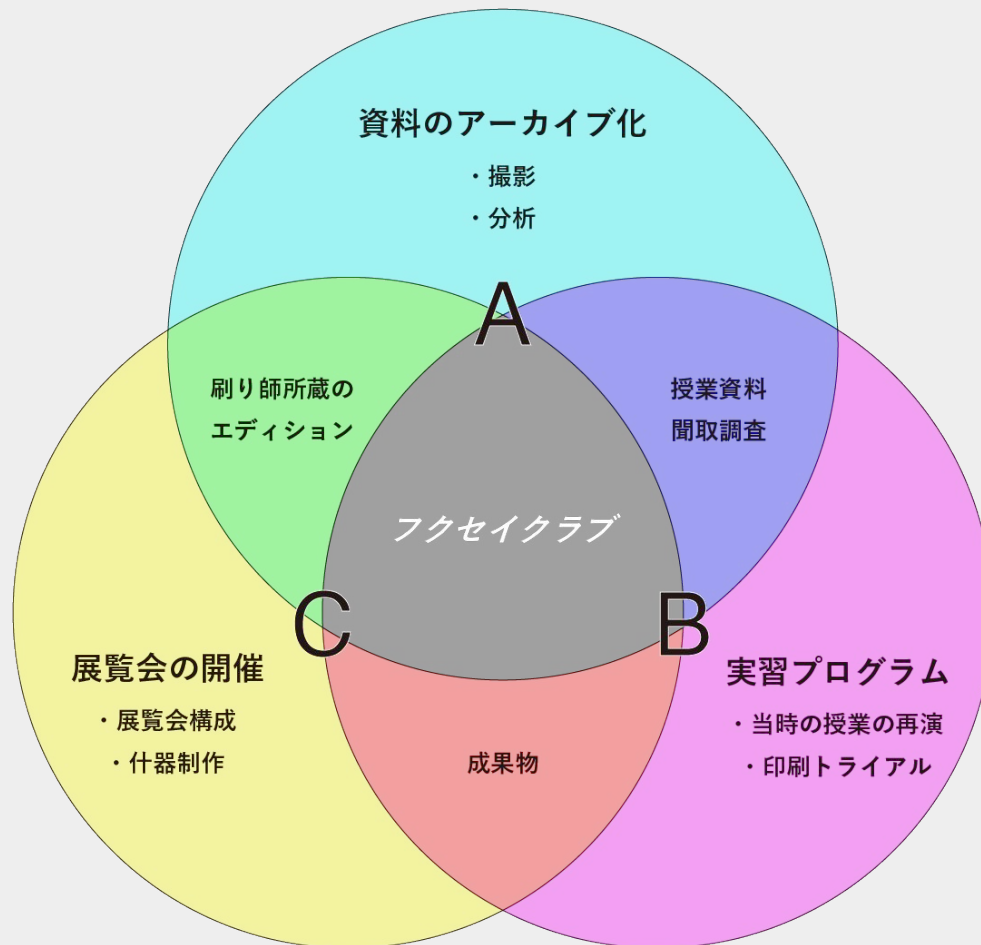
1960年代以降、アメリカの版画工房「タイラー・グラフィックス」のマスタープリンター、ケネス・タイラーをはじめ、さまざまな刷り師がアーティストとのコラボレーションを行ってきました。

日本でも版画制作の波が訪れ、72年には今回の調査対象である谷中和生氏も「タニナカシルクエディション」を設立し、そこで横尾忠則のポスターなどを制作しました。ウルトラファクトリーには谷中氏が本学で教員をされていた時代に残された「刷り師所蔵のエディション」が保管されており、フクセイクラブでは、シルクスクリーン制作工房「京都孔版」と共に、当時の授業内容の再演なども試みつつ、技術的な視点から分析を試みます。



▲ タイラー・グラフィックスのスタジオで《噴泉》(1992年)を制作中の
フランク・ステラ(左)とケネス・タイラー

フクセイクラブ_活動内容



今回の活動は3つの大きな活動から成ります。

A) 資料のアーカイブ化。現在ウルトラファクトリーに保管されている資料を整理し、分類、撮影、デジタルアーカイブ化を行います。

B) 実習プログラム。当時の授業の資料や谷中先生へのインタビューなどを元に、当時の授業の再演を試みたり、インクや色の重なりなどについての技術的な実習をいくつか企画します。

C) 展示会の開催。Aでまとまった資料や、Bの実習で得られた成果物などを展示する展示会を企画します。構成や、什器制作もPJで内製します。

谷中コレクション

(資料のアーカイブ化)

ウルトラファクトリーのプリントラボに保管されている資料。谷中和夫氏が大学で非常勤講師をされていた時代に残された資料で、実際に刷り師として制作されたもの。画像の横尾忠則氏のシルクポスターの連作「龍の器」のP.P. (プリンターズ・プルーフ=刷り師所蔵のプリント) もその一つ。他にも谷中氏ではなく横尾氏がプリントを行ったポスターのP.P. もあり、その制作の様子が写真資料に残されている。

▼ 横尾忠則《龍の器 I》P.P.



▼ 横尾忠則《龍の器 III》P.P.



▼ 《横尾忠則版画展ポスター》
制作中の横尾氏



実習プログラム

(例：23年度フクセイクラブ)

鳥居本が顧問となって、23年度までウルトラファクトリーのテクニカルスタッフの業務のかたわら実施していたクラブ活動。課題制作や業務以外の用途で工房機材に触れ、自分で考えて手を動かす純粋な作業時間を作ることを目的とした活動。今回のPJはこの活動の派生として生まれ、より技術的な箇所に焦点を当てて実施します。



▼ ゲスト：情報デザイン学科教員／岡田将充 (OMD) ▶



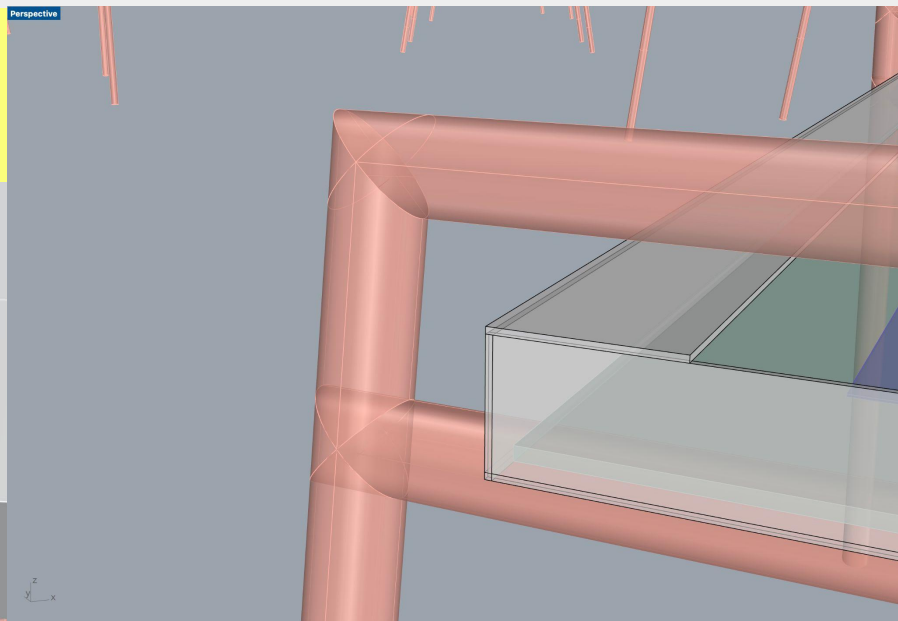
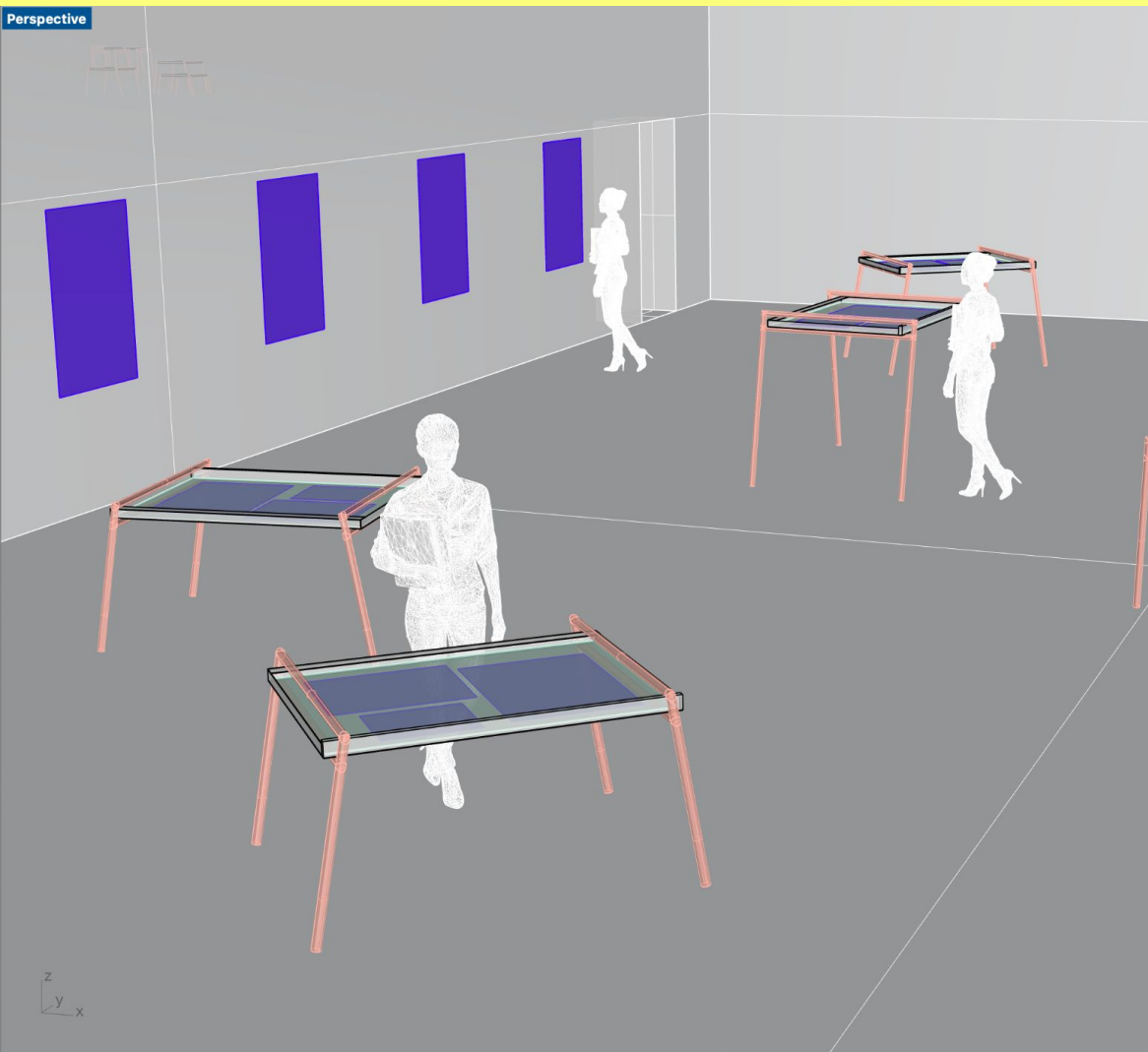
◀ ゲスト：情報デザイン学科学生／yangyang ▶



展覧会の開催

谷中コレクションや、実習プログラムで得た成果物等を展示する展覧会です。資料展示としての構成を保たすため、普段谷中コレクションを保管している棚（引き出し）を展示什器に活用します。鉄材を用いた什器製作等、作品を展示するために必要な品々もウルトラファクトリー内の機材を用いて作っていきます。

▼ 展覧会（ドラフト）



▶ 製作什器例

▶ 溶接作業



ディレクター紹介

鳥居本 顕史



シルクスクリーン制作工房「京都孔版」主宰。工房としての機能性を求めた工房製作プロジェクトを進めながら、テクニカルディレクターとしても美術作家やデザイナーとの協働制作を行う。シルクスクリーンの設備や技法の上で、作家それぞれが通常の使い方を脱臼させていきながら作品を生み出していく試みを、刷り師としてディレクションを行いつつサポートする。企画した展覧会として「半自動手職」展（2022年）など。

浦田 沙緒音



2015年 京都造形芸術大学大学院 (現:京都芸術大学) 修了後、堀木エリ子アンドアソシエイツの制作業務に従事。2021年～現在、ウルトラファクトリー副手として在職中。幼少期より社会活動に関わり、自主上映会やワークショップの企画・実施を行ってきた。2017年にはユース特使として、被爆者とともに各国で証言活動を行う。近年は自身の制作活動を行いながら、展覧会のディレクション、ファッションブランドの制作アシスタントなどに携わる。

